

2023. 5. 1

Report from AKATSUKA PARK

発行：赤塚公園ニリンソウを守る会

●植物モニタリング活動 5/8、5/15 9:00 ため池公園梅林下集合 →大門地区

●ニリンソウを守る会例会 観察&学習会「崖線の水場巡りと湧水を考える」(全2回)
(詳しくは、090-8646-9757 木村まで)

<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

5月に入って春の盛り 林は早くも夏模様 ニリンソウ自生地は景色が一変



今年は季節の移り
変わりが早いです。

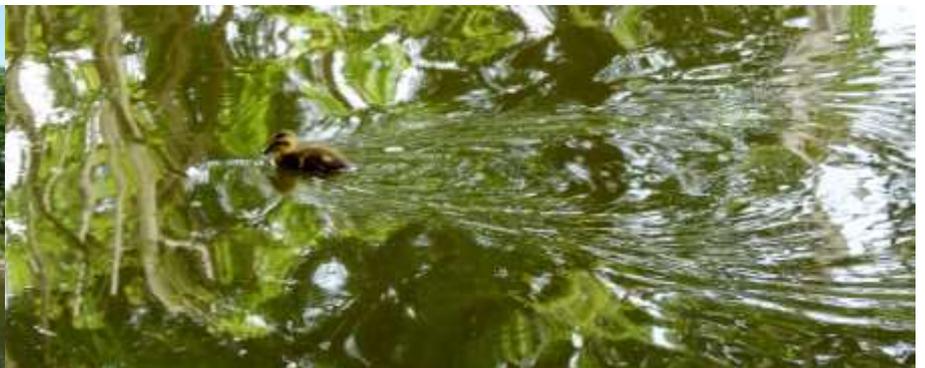
左の写真のように
4/10 の大門ニリンソ
ウ自生地はニリンソ
ウとヤマブキソウの
咲き分けでとても華
やかだったのが、5/1
には右の写真のよう
にニリンソウはすっ



かり消えていました。といっても、ニリンソウは死んでしまったわけではありません。今から来年の2月まで地面の下で根茎という形で生き続けます。根茎は地中のごく浅いところで来年のための栄養を蓄えているので、自生地が日照りになって地面が乾いてしまうとよくありません。秋から冬にかけて葉を落していた落葉樹が葉を広げて、地面が乾くのを防いでいます。ニリンソウのような春植物が生きていくには落葉樹の林が必要なのです。

新緑は黒々と変わり カルガモはもうすぐお引越し

ため池公園から見える赤塚城址の落葉樹も5月には新緑から黒々とした葉に変わってきました(下の写真の左の林)。ため池ではカルガモの赤ちゃんが気持ちよさそうに泳いでいました↓



春が行き過ぎないうちにしっかりと見ておきましょう

足元には**コメツブツメクサ**

小さな葉はよく見るとシロツメクサ（クローバー＝白詰草）と同じ形。直径3mmほどの小さい花もシロツメクサと同じ形。だから、米粒のようなツメクサ。色が黄色いのでとてもきれい↓



↓ほのかに香る**スイカズラ** 白から黄へ



↑顔を上げると**エゴノキ**の花。下から仰ぎ見ると見事なドウダンツツジは和名で「満天星」と呼ばれていますが、エゴノキの花は「シャンデリア」に例えられているようです。



↑**コヒルガオ** 薄紫の花を写真に映し撮るのは結構難しいものです。

←ここにも生きていた寄生植物**ヤセウツボ**。4/28の石神井川緑道レポートでも紹介しましたが、葉緑素がないので緑にならず、おまけに他の植物に寄生して生きていく変な植物です。要注意外来生物に指定されているのですが、他の植物の生育を邪魔しなければ生きていていただいて構いません。

5/1のモニタリングは、**ニンソウ**月間中に擬木につるした説明パネルを外しながらの観察活動でした

→

